

endless 山田正亮の絵画

と き／3月1日(水)～4月9日(火) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都国立近代美術館 (休日以外の月曜と3/21休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111



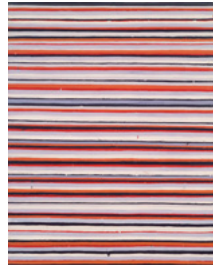
山田正亮 1956年

画家山田正亮(やまだ・まさあき) ワールドへようこそ！
 絵画の饗宴を、是非お楽しみください。

山田正亮(1929-2010)は、「絵画と契約」した男です。その背景にあったのは、少年期の過酷な戦争体験。罪もない多くの人々の理不尽な死を目の当たりにした山田は、確かな価値を求め、なぜか絵を描くことにその身を託し、その後、半世紀以上にわたりひたすら描き続けました。彼にとって一枚一枚の作品の制作は、常に身を削るような真剣勝負。一見みな同じようなストライプに見えても、それぞれの作品はみな違った表情と個性を持ち、何層にも重ねられた絵の具が、とても豊かな視覚体験へと誘ってくれます。5,000点を超える山田の絵画のなかから選りすぐられた219点を通して、今日にあっても衰えることのない絵画の力を、そして、描く営みの奥深さを実感していただければ幸いです。

ただし、めまいにはご注意ください。

山田正亮(本名正昭)は1929年東京に生まれる。日本アンデパンダン展や自由美術展に出品。結核を患い入院を繰り返す。養清堂画廊、南天子画廊ほかで個展。2005年府中市美術館で個展。文化庁長官表彰を受ける。2010年胆管がんにより自宅にて死去。



[Work C92] 1961-62年 (横浜美術館蔵)



[Work F116] 1992年

日本美術と高島屋 (高島屋史料館蔵) 特別展示 豊田家と飯田家寄贈作品展



竹内栖鳳
 「アレタ立に」
 明治42年



富岡鉄斎
 「碧桃寿鳥図」
 大正5年



竹内栖鳳
 「小心胆大」
 明治42年

と き／3月29日(水)～4月10日(月) 10:00AM～8:00PM
 ところ／高島屋ランドホール7F (会期中無休)
 京都市下京区四条河原町高島屋7F ☎075-221-8811

高島屋と日本画家たちの交流を紹介する特別展示。天保2年(1831)京都で産声を上げた高島屋は、創業期の呉服店時代から誇りと伝統を有し、歴史を重ねてきた。本展ではその長い歴史の中で、高島屋の名の元集った日本画の名品を一堂に展覧し、近代日本の画家たちが高島屋と如何なる関わりを持って自らの芸術を高めていったのかを一望できる。横山大観、竹内栖鳳をはじめ、前田青邨や川端龍子、東山魁夷など、約60点に及ぶ展示作品が高島屋に収まったエピソードも交えての紹介は、観者の興味をそそるものである。

また今回は、高島屋四代飯田新七の娘・二十子(はたこ)が嫁いだトヨタ自動車創業家の豊田家から、大阪高島屋史料館に寄贈された貴重な美術作品や呉服約30点も特別展示される。

会場	日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	(3F)	endless 山田正亮の絵画 →4/9																														
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	(4F)	コレクション展：抽象への道、追悼：不動茂弥、早春の日本画、海と時間、漆工、洋画の名品、長谷川潔など →4/16															庭園のみ開館 →4/9															
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	京都府コレクションにみる武家の服飾／ユネスコ記憶遺産登録記念 東寺百合文書 →4/23																														
	3F	祇園祭 - 岩戸山の名宝 - →4/2																														
	4F	戦国時代展 - A CENTURY of DREAMS - →4/16																														
	5F	第30回 全国 シルバー 書道展 京都展					第16回 福知山市佐藤太清 賞公募美術展					有岡由利子 バッチワーク キルト教室 作品展					(展示会)					第60回あまがつ 会人形展 第40回記念 新日美展 京都展 箱の遊び 展 →4/2										
	6F	(展示会)					嵯峨御流 創立75周年 記念華展					講演 音楽 会					遠州 いけばな 展															
別館	むす美 新作展 イベント					講演 音楽 会					京都アート フリーマーケット					講演 音楽 イベント 音楽 会																

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	第41回 新芸術京都展										京展 (月曜休館)										第49回 窠鴻会展		→4/2														
	別館	川島テキスタイル スクール修了展					第55回 公募文化書道展					第84回 創紀展 <small>第62回 京都市上京児童美術研究所 児童作品展</small>					漢字三千年展					日本大判 写真展		→4/2														
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	中井浩一遺作展 (洋画)					第37回 京都工芸美術作家 協会展					汎具象春季展 (洋画)					第40回 新匠工芸会春季展					第48回 新協 京都展 (洋画)		→4/2														
	2F	第12回彩り・細ぐ 〜それぞれの2017〜 (染織)															第8回 はてなし会 (日本画)					第40回 関西 美術院展 (洋画)		→4/2														
	3F																																					
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		当館はリニューアル工事のため、2017年1月から2018年春頃まで休館いたします。 開館日は決まり次第、お知らせいたします。																																				
企	何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		墨から玄へ MAYA MAXX展 (3/20以外の月曜休館)																																			
企	高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	-野に遊ぶ- 春の茶の湯展 御おもちゃだし 林美木子展 (工芸)					-はるがすみ- 絵画四人展 今井裕之 金石造形展					煌めく夜 安富洋貴展 (洋画) 新里明士 -Liminescence... (陶芸)					古稀記念 川端近左漆芸展 (茶道具)					中島千波 展 -乾坤爛漫- (日本画)		→4/4													
		グランド ホール	高島屋資料館 秘蔵コレク ション																																			
企	大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	北原亮展					春の茶道具展					百虎絵画展					珊瑚彫刻作家 作品展					岩波昭彦 日本画展		→4/4													
		アート サロン	にゃんだふる! ネコNEKO展					春の秀作美術展					井上家Exhibition					岩波昭彦日本画展					→4/4															
		ミュージアム	ムーミン絵本の世界展 トーベ・ヤンソンの原作から、描きおろし新作絵本ができるまで																																			
企	中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		没後10年 吉原英雄展 (月曜休館)																																			
企	並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		休館中																																			
企	美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		安野光雅の仕事																																			
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
貸	アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	The Meditation Jung Gyungsik					青木三代代・田代里見 二人展					京都造形大日本画4人展					中川晃宏・中川藍 親子展					安食洋絵画展		→4/3													
		2F	西野智輝 個展 (平面)					北村隆徳・山田遼介 二人展					京都造形大日本画2人					風の舎 春季小品展					山本郁夫個展		→4/3													
貸	企	アーツスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	前田和人展 (立体)					井浦崇+大島幸代 (映像)					金子紗彩 (映像)					平瀬直之展 (平面)					上野道子展 (平面)		→4/2													
貸	企	Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	つらつら展 (日本画)					日本画展 煌					第6回 新鋭作家日本画展					それぞれの女性達 (日本画)					kyo to kyo 京都展 (日本画)		→4/5													
貸	企	アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	キューブアート展@神宮道 (後期) (月曜休廊)										常設 hakuhou-doh展 (月曜休廊)										ダニエル ケリー展		→4/9													
企	アルティザン・ジャパネスク 東山区神宮道三条上ル 746-2931		4月より新入会のフォトギャラリーです																																			
貸	企	綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787						同志社大学 写真同好会展																														
企	イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372		橋爪 彩個展 (日・月休)																																			
貸	企	芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																			
企	絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展																																			
貸	企	延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552	高橋亜垂展 (磁器) (木曜休廊)																				杉江智-クリスタルガラスの器展 (木曜休廊)					→4/4										
企	御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083		洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一 他																																			
企	カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																																			
企	画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																																			

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

1960～2000 アメリカ

と き／2月11日(土)～3月12日(日)

ところ／ギャラリー白川 (祝日以外の月曜日)

芸術は、一番経済力のある場所や時代に花開いてきました。同じようにアメリカが一番パワーに溢れた時代、アメリカンアートが花開きました。アメリカンアートの1960年から2000年を、ギャラリー白川の画廊コレクションでたどってみます。そこから、未来のアートの方向を感じていただけたら嬉しいです。

出品作家：ジョン・ケージ、サム・フランシス、S・ルウィット、R・マンゴールドD・サルタン
マルチプル・アート／M・デュシャン、マン・レイ、リキテンシュタイン、クリスト、他



Marcel Duchamp, Contrepeterie Record
1968SMS (SMSより)

絵画と音の融合「メメント・モリ」展

と き／3月18日(土)～4月9日(日)

京都市東山区東山安井東入ル下ル ☎075-532-2616



2015年11月にギャラリー白川で行われた美術家片山雅史氏と作曲家池田明子氏によるコラボレート作品「メメント・モリ」を再リレクションし、展示致します。この取り組みは、片山氏が制作した12点の絵画作品「光悦に寄せて」の作品のモチーフから音を紡ぎだし、その上に五線譜を重ねることで演奏者が演奏

奏できる楽譜になっています。

初演は、2015年11月29日にビオラ奏者永久真里江氏により行われました。今展では、2015年に発表した12点のシリーズに新たに13点を加え、絵画として発表いたします。



太田夏紀陶展 一種の子

と き／3月3日(金)～3月15日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー (木曜休館)

京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

不思議な生命感のある造形…太田夏紀の作品は、表情豊かな動物たちが、それぞれ主張し合って世界を形成している。どれもかわいいだけでない、シニカルな言葉を持って動き出すようだ。

カメレオン、カエル、スズメ、ランチュウ…今までの作品は実在の生物が太田風にアレンジされた「松ぼっくりの雀」だったり、「歌うような鶏」や「神のようなナマケモノ」だった。ところが今回の展覧会ではそこから一歩進んだ、見たことのない不思議な生物たちが登場する。

生物の奥底に潜んでいる、命の不可思議が、太田の手を通過して地上に現れたような造形である。かわいく、不気味で、得体のしれない新しい生き物たち。彼らはなにを想い、どこへ進んでいくのだろうか。ますます太田の作品から目が離せない。京都陶磁器会館の2階ギャラリーが、太田夏紀の世界となる2週間…。是非、あなたの目で、不思議な命の世界をご覧ください。

太田夏紀 (おおた なつき)

1993年 大阪府生まれ

2016年 京都精華大学 芸術学部素材表現学科 陶芸コース 卒業

2016年 京都精華大学 大学院 芸術研究科 陶芸専攻 入学

2015年 「京都同時代学生陶芸展」元・立誠小学校／京都

2015年 「わん・碗・ONE展」京都陶磁器会館／京都

2016年 「合同個展」The Terminal KYOTO／京都

2016年 「精華-ESSENCE-」BAMIGallery／京都

2016年 「手のひらアート 動物園」岡山天満屋 COMBINEoffice／岡山

2016年 「STEP / STROKE」ギャラリー恵風／京都

2016年 「陶芸 tomorrow 6 芸大 若手の饗宴」ギャラリーマロニエ／京都

2016年 「太田夏紀 個展『息物』」BAMIGallery／京都2016年「2017年 干支『酉達の集い』」あべのハルカス近鉄本店／大阪2016年「-コンボラサーカス- 京都若手現代美術作家展 vol.2」京阪百貨店 守口店／大阪

受賞歴

2014年 「わん・碗・ONE展」10位入賞／京都陶磁器会館

2015年 「京都花鳥館賞」優秀賞／京都花鳥館



〔今月の展覧会より〕

西村一成新作展 Selected Paintings 2016

と き／2月25日(土)～3月19日(日) 1:00PM～7:00PM

ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

画家・西村一成 (にしむらいっせい、1978年生まれ、愛知県在住) は、日々“生”の全エネルギーを創造に注ぎ込んでいる。描くことへの情熱がいつもグツグツと煮えたぎっている。まるで荒ぶる大地の裂け目から噴き出すマグマのようにだ。彼は野蛮さと壊れやすさを同時に兼ね備えている。その創造は本能的で、作品には彼の極めてセンシティブな精神の震えが直接的に流露している。感情→行為→物質のオブジェと化した絵画はまるで「生のままの芸術」の衝撃だ。予測不可能な生の一瞬への、避けることのできないリアクション＝クリエイションの、絶え間なく押し寄せてくる波動を全身全霊で受けとめて、画家は今日も描き続けている。

本展はギャラリー宮脇における5回目の個展。新作ペインティング25点を発表。企画展リーフレットには馬場駿吉氏 (名古屋ポストン美術館館長) による特別寄稿「動物の原始感覚の再認識／西村一成の絵画世界」を掲載。

…西村一成の絵画世界へ一歩を踏み入れた時、まず最初にショックを受けるのは、叫喚と昏睡を往還する色彩、重力への反発と屈服が交錯するストロークと流滴—日常生活のまどろみを一気に引き裂くような出来事が身ほとりに突発した場合、瞬時に私たちの存在位置が表示出来るほどのエネルギーがそこに渦巻いているということだった…彼の作品はマイナスの世界に沈むのではなく、人類生存の危機を突き破るための潜在エネルギー再発見の扉につながっているのではないだろうか。

(馬場駿吉寄稿より)

略歴

2000年頃より独学で絵画制作に没頭。2006年二科展入選。

2007年シュル美術賞入選。青木繁記念大賞入選。池田満寿夫記念芸術賞佳作

受賞。以降絵画コンクール入選多数。2009年愛銀教育文化財団助成授与。

2012年あいちトリエンナーレ展開事業アーツチャレンジ選抜。

2013年トーキョーワンダーウォール公募入賞。

2015年FACE損保ジャパン日本興亜美術賞入選。

2016年展覧会+シンポジウム「あいちからの発信／発進—あいちから世界へ」

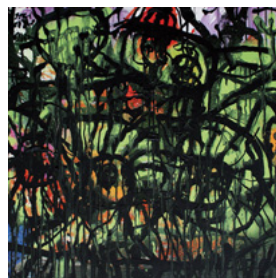
出品。



「芸術の爆発II」
140×130cm変形



「叫びII」 117×73cm



「ベンツが欲しい」 73×73cm

安野光雅の仕事

と き／3月3日(金)～3月26日(日) 10:00AM～8:00PM

ところ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休)

京都駅ビルJR京都伊勢丹7階連接 ☎075-352-1111

画家・安野光雅は1926 (大正15) に鳥根県津和野町に生まれた。子供の頃より画家になることへの憧れを抱いていた安野は、山口師範学校研究科を終了後、美術教員として上京し、小学校で図画や工作を教えながら、本の装幀や挿絵など活躍の場を広げていった。1968年に『ふしぎなえ』で絵本界にデビュー。小人たちが繰り広げるだまし絵のような空間は、鑑賞者を不思議な世界へ導き、日本だけでなく海外でも人気を集めた。以後、『もりのえほん』『みちの辺の花』『旅の絵本』など、独創性あふれる作品を次々と生み出してきた。

美術のみならず科学、数学、文学、歴史などにも造詣が深く、豊かな智識と卓越したセンスを持つ安野の作品は、世界各国で翻訳されている。

本展では、デビュー作『ふしぎなえ』をはじめ、草花を描いた水彩画『野の花と小人たち』やヨーロッパの街並を描いた『旅の絵本』シリーズ、切り紙を用いた『昔噺切り紙桃太郎』など、初期作品から最新作を含む約90点で、安野光雅氏が手がける様々な仕事を紹介する。



「ふしぎなえ さーかす」 1971年 ©空想工房



「旅の絵本V スペイン編」 2003年



安野光雅

空女展 ～若き作家たちの挑戦～

と き／3月17日(金)～3月29日(水) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー (木曜休館)
京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

100年ほど前に世界を魅了した京薩摩という京焼がありました。虫眼鏡を使わないと細部まで見えないような超絶技巧を凝らしたその作風は、世界中をあっという間に驚かせたのですが、永く絶えておりました。それを現代に復興させたのが空女先生で、先生の作られる作品はその華麗さと細密さ、そして今を生きる陶芸家としてのセンスで高い評価を得ておられます。

先生には素晴らしい作品を制作される作家としての顔と、その技術を陶の道を歩む若い作家たちに惜しみなく伝授される、優れた指導者としての二つの顔があります。今回はその両方をご紹介できる展覧会として開催させていただきます。

先生を慕う若き作家たちが日本中から集まり、それぞれの技を駆使した作品を披露してくれるのです。「みんな違ってみんな良い…。」と先生はおっしゃっておられました。どんな煌めきが集まるのか…ぜひ、会場でご覧になっていただきたいと思います。

出品作家：空女（小野多美枝）と若手の出品作家9名

見谷若葉、野上美映子、真砂皓志、竹内瑠璃、新川砂山、林 大地、齋藤有希子、藤本 友、高橋亜希



空女—a

京都市立芸術大学退任記念 旅する布たち —ひろいのぶこ展—

と き／3月11日(土)～3月26日(日) 11:00AM～7:00PM
ところ／京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (3/13、3/21休館)
京都市中京区御池通堀川東入ル ☎075-253-1509

ひろいのぶこさんは手のひと。

その手にはしかし、とてつもない関係を夢見る力がある。異なるものとの出会いに震える生ぶ毛のような感受性がある。未知のものをたぐり寄せのおおらかさがある。糸を紡ぎ、結わい、繋ぎ、編む。異なるものをこのように織りあわせてゆくときのときめきは、糸や毛糸や革や針金を用いたファンタジーいっぱいの造形や、世界の各地域の織布技法の調査のみならず、ことばにも飛び火して、童話のような詩に結実してもきた。テクスタイルもテキストも、テクストゥーム（織られた物）というラテン語に由来すると知れば、すっと納得がゆく。のぶこさんは、とことん、手で夢を見るひとなのだ。

京都市立芸術大学 学長 鷲田清一



〔EYES GETTING BROADER〕 2005

平面や立体、インスタレーションの作品数十点が展示されます。

素材は羊毛や絹などの繊維を中心に、紙・金属・貝・珊瑚なども使い、織る・組む・縫う・縮絨などの技法を使っています。また、各地各国の染織品や道具類、素材など、直接間接に創作を触発した資料も展示します。

ギャラリートーク

3月11日(土) 2:00PM～

ひろいのぶこ×井上明彦 京都市立芸術大学・教授(造形計画)×永守伸年 京都市立芸術大学・講師(哲学)

3月20日(月・祝) 2:00PM～

ひろいのぶこ×上羽陽子 国立民族学博物館文化資源研究センター・准教授(民族芸術学・染織研究)

オープニングレセプション

3月11日(土) 4:00PM～

ひろいのぶこ 略歴

1951年神戸生まれ。1975年京都市立芸術大学美術学部工芸科卒業。
1977年京都市立芸術大学美術専攻科染織専攻修了。1988年より京都市立芸術大学美術学部工芸科染織専攻教員。専門は織物、繊維造形、染織文化論。1997年～98年文部省在外研究員としてアメリカ、カンザス州立大学に在籍。2010年より国立民族学博物館共同研究員。1984年第2回ベータ国際ビエンナーレ展(コルトレ美術館、ベルギー)でベータプライズ大賞受賞。作品は、サバリア美術館(ハンガリー)、アンジェ美術館(フランス)、サンフランシスコ近代美術館、ロングハウスリザーブ(ともにアメリカ)、京都市立芸術大学芸術資料館および京都市美術館に所蔵されている。京都、東京での個展をはじめ、アジア、ヨーロッパ、北米など、海外での展覧会に出品。



Nobuko Hiroi



〔LIGHT FALL〕 2011

〔今月の展覧会より〕

南川朋宣日本画展 ～地球イチバン僕ニバン～

と き／3月25日(土)～4月9日(日) 11:00AM～7:00PM
ところ／画廊後素堂(会期中無休)
京都市中京区新町通丸太町下ル ☎075-231-0938

地球には美しいと思うモノがいっぱいある。単純ではあるけれども美しいと思うモノを美しいと思う絵にすることは簡単なことではない。工作上、花を描く事が多い僕は5年くらい前から園芸が趣味となった。気が付いたら200鉢以上の花を育てている。

春になり、「この花は去年、スケッチしたから、今年はまだいいや。」とはならない。「こんなにきれいに咲いたんだから、描いてくれよ。」と要求してくるのでがんばって描く。がんばって描くと毎年小さな発見を見せてくれる。それが楽しい。

自然の美しさにはかなわないがどうかして、美しいと思う絵が描きたい。具象、抽象問わず、絵画でしか現せない美が存在する。

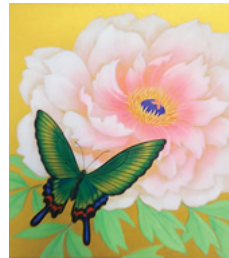
これが造形であるのか、魂であるのか、わからないが人間の根源的要素に起因した、「感じる」ものである。人間も自然の一部である。この必然的つながりを絵に託したい。初めて、京都で個展をします。御高覧いただければ幸いです。



〔桜に雀〕4号F

南川朋宣 Minamikawa Tomonori 略歴

1977年 三重県四日市市生まれ
1999年 第31回日展入選
2001年 金沢美術工芸大学 美術工芸研究科 修士課程
日本画専攻 修了
2006年 絵師として、各寺院障壁画を多数手がける。
2008年 浄土真宗高田派本山専修寺大涅槃図修復
第4回トリエンナーレ豊橋入選
2013年 豊田佐吉記念館襖絵復元制作
2015年 個展(西唱寺天井画天空黄龍図完成記念)
2016年 真宗大谷派名古屋別院東門修復記念日本画奉納
第43回四日市市美術展覧会審査員
現在 私立海星中高等学校美術科講師
四日市アート展実行委員長
現住 三重県四日市市日永



〔牡丹にカラスアゲハ〕
(色紙)



〔月波図〕60号F

黒から玄へ MAYA MAXX 展

と き／2月3日(金)～3月26日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館 但し3/20は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「黒から玄へ MAYA MAXX展」を開催いたします。

MAYA MAXX (マヤマックス) は、27歳から独学で絵を描き始め、ギャラリー、美術館での展示だけでなく、難病の子供達と絵を描くプロジェクトを立ち上げるなど、美術の枠を越え、幅広く活動しています。その活動は多くの人々に周知され、絵画の領域だけに留まらず、多方面で高い評価を得ています。

前回の展覧会から約2年の間、MAYA MAXXは作品を描くことができませんでした。

思うように描けない日々の中で、MAYA MAXXの作品は、絵の具が何層にも重なり、何枚描いても最終的には、真っ黒な画面になってしまいます。しかし「黒」とは根源的な色であり、一番色彩豊かな色ともいえます。そして「玄」は「宇宙の色」「万物の根源」という意味を持ち、それは2年間、自身と向き合ってきたMAYA MAXXが辿りついた一つの答えなのです。



MAYA MAXX アトリエにて

本展覧会では、六曲一双の屏風作品や100号の連作など、新作約50点を展覧いたします。会期中には関連イベントとして、観客との対話型ライブペインティングやガラリートーク、サイン会も開催します。この機会に是非御高覧ください。

ガラリートーク、サイン会 3/12(日)・3/20(月・祝) 午後2時
ライブペインティング、サイン会 3/4(土) 午後2時

○記念出版『黒から玄へ MAYA MAXX 作品集』 2,800円



〔二人のバッファロー〕2016年

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
企	貸	画廊 後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938																									南川朋宣日本画展 ～地球イチバン僕ニバン～	→4/9					
企	貸	画廊 彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	展示休廊・土日祝日休業																														
企	貸	画廊 たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																														
企	貸	画廊 ビーナズ 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	休廊																														
企	貸	ぞおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	立命館大学写真部 卒業展	「女性を描く」12 グループ展										洋服とアクセサリー 廣瀬光美 (不定休)										→4/9									
企	貸	ギャラリー M 中京区錦業師高倉西 221-0979	『旅を絵にする』アジア編出版記念 原画60点展示、インド、バリ、ラオス 他 (松本祐佳)																														
企	貸	ギャラリーカト 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F 久保田由紀子 表装展	立命館大学 美術研究部卒業展										金陽会 作品展										チャーチル会 小品展	→4/2								
企	貸	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	皆様のご利用をお待ちしております。 (日曜休廊)																														
企	貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	秋桜 木彫り 作品展	なないろ ハーモニー クラフト展										春のおしゃれ 着物展										第22回 虹の会展	第22回 泉地靖雄と仲間展	→4/1							
企	貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	ギャラリー 吉象堂企画 小品展										山出勝治個展										Katya Swafford 心映く	→4/2									
企	貸	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	玉井人道展 (日本画)										山本知克遺作展 (日本画)										榎並和春展 (洋画)		→4/2								
企	貸	Gallery G-77 小川通丸太町下ル 755-7695	常設展																														
企	貸	ギャラリー K 中京区寺町二条下ル西側 255-7518	3月は休廊いたします。																														
企	貸	ギャラリー 恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 吉原拓弥展 (平面)	井尻杏那・柴木みづほ・ 北浦真保展 (陶芸)										濱田弘明展 (版画) (月曜休廊)										新鋭木版画 作家展		→4/2							
			2F 田頭由起展 (陶芸)	漢 嘯・中村公美展 (版画)										京都造形芸術大学版画工房 「30×30の窓-2016」										河脇紗耶展 (版画)									
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
企	貸	ギャラリー 佐野 中京区寺町錦業師西北角 221-2767																									韓海淑展 - 断思ねこ -						
企	貸	ギャラリー 三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	常設展 (11:00~17:00 土日祝休み)																														
企	貸	ギャラリー 思文閣 東山区古門前大和路東入 761-0001	思文閣大入礼会下見会																														
企	貸	ギャラリー 白川 東山安井東一筋目南 532-2616	1960~2000 アメリカ (画廊コレクション) (月曜休)										絵画と音の融合「メメント・モリ」展 (祝日以外の月曜休)										→4/9										
企	貸	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	お花とビーズアク セサリーの展覧会		鮮やかな魅り (タンス、漆器他) (月曜休廊)										キムラトモミ作品展 (絵画、小物 他)										布楽工房能 布遊び (着物地の洋服他)	→4/2							
企	貸	ギャラリー 16 東山区三条通白川橋西上ル 751-9238	立野陽子展 「fight marker」 (絵画)	tracing 1980s (フェルトによる立体) 植島美智子展										野生児の祝祭 天牛美矢子展 (インスタレーション)										櫻井類 個展 「何も映さない鏡に 浮かぶ」(絵画)	→4/8								
企	貸	ギャラリー 創 中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展 伊藤若冲・長沢芦雪・円山応挙・白隠慧鶴・鴨居玲・熊谷守一 他																														
企	貸	ギャラリー 象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738	貸ギャラリー受付中																														
企	貸	ギャラリー 高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390											第7回二人展 織・鈴木美和子 染・長谷川洋子										「春に聞きました」 陶&織	→4/2									
企	貸	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	Amu13期 写真展	仮面聡・京都展										ちいさいどうぶつえん										宇宙女子博	→4/9								
企	貸	ギャラリー 鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展 (不矩・鉄斎・栖鳳 他 軸装・額装) (6・9・18・19・28・29日休廊)																														
企	貸	ギャラリー 知(とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160	佐々木麦個展		松岡円香・森永悠太 矢田敬子日本画三人展										藤田 薫個展																		
企	貸	ギャラリー なかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	黒川彰夫展 (洋画) (月曜休廊)																														
企	貸	ギャラリー 中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	水本智久展 Natural Posture	未来アート展										陶新波グループ展										川端英一展 (月曜休廊)		→4/2							
企	貸	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																														
企	貸	ギャラリー ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F キノプリント2017 京都精華大学 版画コース 教員・院生・4年生有志に よる版画展	末包恭子展 (日本画)										谷野徹也 遺作展 (油彩)										ウォーターカラー 橋本真弓展	谷口淳一 彫刻展 (日展会員)	→4/2							
			2F	第1回 藤岡美代 銅版画展										はるびの会展 (水彩)																			

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																															
貸	GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303																																
貸	企	3F	ハマユヅル展 (油彩)		友寄万里奈展 (ミシンワーク)				友寄万里奈展 (ミシンワーク)				後藤吉見・村上佳奈展 (日本画・木彫)				二・五次元 - 絵画考 -																
		4F	Hole of Mole (平面)		マクリン・ニンニ展 (陶)				写真表現大学 修了制作展				ニュアンス展 (平面・立体)																				
		5F	村田彩展 (陶)		村田彩展 (陶)																												
貸	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997																											花夢展					
企	貸	冬休み										MIEKO MINTZ New Yorkからの情熱										IKIRU 松永恵子展											
企	貸	常設展示										谷口左和子 陶展																					
企	貸	龍馬と酢屋 常設展 (水曜休廊)																															
企	貸	常設展 (日祝休廊)																															
企	貸	西村一成新作展										常設展示																					
企	貸	アンティークマイセン・カップ&ソーサー/ガレ・ドーム展 (6日・13日休廊)																															
貸	1号館	同志社大学 クラマ画会		スペースデザインカレッジ 卒業作品展 (建築・インテリア)				出曼朱展 (油彩)				祥洲と墨集団sho 書画展「Loving」(23日休廊)				水彩画スケッチ うさぎの会展																	
	2号館	同志社大学 クラマ画会		まほろば会日本画展				月耀会 (水彩色鉛筆画)				京同展 (京大美術部/同大クラマ画会)				中尾絵画教室展 (日本画)																	
	1号館	同志社大学 クラマ画会		本代先生と土の仲間の会展				純陽子書画展 玉筍会展 (書画)				福田匠吾書画展2017 (23日休廊)				墨の芸術・書と墨画 宮本沙海展																	
	2号館	同志社大学 クラマ画会		同志社大学写真同好会								京同展 (京大美術部/同大クラマ画会)																					
貸	企	貸しギャラリー受付中																															
企	京都芸大ギャラリーアークア 中京区御池通堀川東入 253-1509	80年代再考のためのアーカイ バル・プラクティス (仮)		休館				「旅する布たちーひろいのぶこ展ー」 (月曜休廊)										休館															
		西條西+嶋春香 [rhizome]																															
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	スポンティニアス、ビューティ・作家のいない展覧会 キュレーション・笹原晃平																															
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	近代京都の商業学校・工業学校 (木曜休廊)																															
企	1F	陶磁器		太田夏紀陶展 -種の子-				太田夏紀陶展 -種の子-				空女展 ~若き作家たちの挑戦~				空女展 ~若き作家たちの挑戦~				藤信知展 安田宏定陶展													
	2F			荒賀文成・前田麻美 二人展				荒賀文成・前田麻美 二人展																									
貸	企	Abstract Photography		墨絵・筆ペンで 描く墨絵教室 作品展				清交会写真展								第3回「グループ さんさん」作品展																	
貸	企	大和美緒個展																															
貸	企	上 映会		上 映会		相澤一夫展 (宮城県 気仙沼在住の画家)				ライ フ		講 演会		上 映会																			
貸	企	貸画廊受付中																															
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展 (日祝休廊)															井上有一展 (会期中無休)																
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展 (コンセプトualリズムアート) (日祝休廊)																															
企	梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																															
企	貸	小孫哲太郎 陶芸展										蛭田均 作品展										田上真也 陶展											
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)																															
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新古書画常設展示 (16日・月末休廊)																															
企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火祝休廊)																															
貸	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	貸ギャラリー受付中																															

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>